

次号 特集 手技

ホスピタリストは入院患者の診療を総合的に担当するため、多くの手技を安全かつ確実に施行することが求められます。日本の場合、都市部の病院では専門科で行うことが多い手技であっても、特に地方や僻地の総合病院で特定の専門科医師が不在の場合、急を要する際にはホスピタリストが行わざるを得ないことがあります。

今回は、なかには「骨髄穿刺・生検」のように異論も出るかもしれないコンテンツもあえて含めました。僻地や離島の病院から、血液内科専門医のいる病院に紹介搬送することは容易ではありません。しかしそこで医療を必要とする方たちは間違いなく存在し、実際に医療が行われています。1人でも立ち向かわなければならないホスピタリストが一定数いるものと考えます。

日本版ホスピタリストには、「そこで誰もやりたがらないこと」「必要だができる人がいないこと」も隙間を埋めるように取り込む柔軟性・カメレオン性が求められることがあります。本特集ではそこで必要となる手技について網羅し、単なる手技の解説書ではなく、できるだけ文献検索を行い、エビデンスを重視した、これまでに類をみないような「手技」特集を目指します。

総論

1. シミュレーション教育と手技との関係
[ミニコラム①] 研修医の手技を現場でどのように評価するか?

緊急気道管理

2. ホスピタリストにとっての安全な気道管理総論
3. 麻酔科医不在時(院内に自分より上手な人がいない場合)に挿管困難に直面したら?
4. 挿管も換気も困難な症例に直面したら?

ライン確保

5. 中心静脈カテーテル総論
6. エコー下穿刺法のビットフォール
7. 内頸静脈と大腿静脈への留置方法
8. 鎖骨下静脈(腋窩静脈)穿刺の達人になろう
9. 意外と難しいPICC
10. 緊急時ライン確保
11. 末梢静脈路確保

胸腔穿刺と 胸腔ドレナージ

12. 胸腔穿刺(診断)
13. 胸腔ドレナージ(治療)
14. 腹腔穿刺(診断)
15. 腹腔ドレナージ(治療)

腰椎穿刺

16. 失敗しない腰椎穿刺

関節穿刺

17. ホスピタリストが行う関節穿刺

骨髄穿刺と 骨髄生検

18. 困ったときの骨髄穿刺と骨髄生検
[ミニコラム②] 僻地離島で役立つ骨髄穿刺と骨髄生検

その他ホスピ タリストに求めら れる手技

19. 動脈穿刺と動脈ライン確保
[コラム①] 皮膚生検
[コラム②] 心嚢ドレナージ
[コラム③] 胃管留置
[コラム④] 尿道カテーテル留置

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

■ Vol.1 (2013年)

- No.1 ホスピタリスト宣言
- No.2 感染症

■ Vol.2 (2014年)

- No.1 腎疾患
- No.2 膠原病
- No.3 消化管疾患
- No.4 緩和ケア

■ Vol.3 (2015年)

- No.1 呼吸器疾患 1
- No.2 外来における予防医療
- No.3 循環器疾患 1
- No.4 血液疾患

■ Vol.4 (2016年)

- No.1 代謝内分泌
- No.2 周術期マネジメント
- No.3 腫瘍
- No.4 他科の知識 1

■ Vol.5 (2017年)

- No.1 神経内科

No.2 呼吸器疾患 2

- No.3 感染症 2
- No.4 老年科

■ Vol.6 (2018年)

- No.1 腎疾患 2
- No.2 糖尿病
- No.3 肝胆脾
- No.4 心不全

■ Vol.7 (2019年)

- No.1 外来マネジメント
- No.2 総合内科のための集中治療
- No.3 抗血小板薬、抗凝固薬のすべて
- No.4 内科エマージェンシー

■ Vol.8 (2020年)

- No.1 アレルギー
- No.2 画像診断①胸部・縦隔編
- No.3 手技
- No.4 病棟管理

■ Vol.9 (2021年)

- No.1 膠原病 2

初めて画像をメインに取り上げた今回の特集、今までにない誌面構成となりましたが、専門家の先生方と共通言語をもつ、という目標はこれまでと変わりありません。さて、多くの画像を目にしていると、1つ1つが何やら地図のようにも見えてきます。冒険家は何もない地図の上を、正確にいうと、まだ踏破の可能性の見いだされていないラインを地形図の上に設定し、挑戦します。そこには特別な視力や嗅覚が備わっているのかもしれませんが、事前の調査で裏付けをとり、行動の多くが、経験から積み上げた確からしさを伴ってはじめて、目標に挑んでいけるのだと思います。手順をふみ、ミスを避け、リスクのある難所にエネルギーと集中力をつぎ込む、こういったコントロールを行き届かせることは、多くのプロフェッショナルに共通しているかもしれません。情報量の多い画像から何をどう読み取っていくか、その醍醐味をお伝えできる誌面になっていれば幸いです。

● 広告一覧

- | | |
|---------------|------------|
| HITO病院…292 | 南山堂…302 |
| 医学書院…326, 327 | 日本医事新報…266 |
| | 羊土社…337 |

Vol.8 No.2 2020年6月1日発行〔年4回(3, 6, 9, 12月1日)発行〕

Hospitalist

(1部) 定価: 本体4,600円+税
2020年年間購読料: 19,360円(4冊, 税込, 送料弊社負担)

ISBN 978-4-8157-0083-6

発行者 金子 浩平

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
電話: 編集部 03-5804-6056 FAX: 編集部 03-5804-6054
販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055
URL: <http://www.medsico.jp> Eメール: hospitalist@medsico.jp
振替: 東京 7-28572

印刷所	横山印刷株式会社	電話03-3622-6161
広告取扱	メディカルブレーン	電話03-3814-5980
	日本医学広告社	電話03-5226-2791
	文京メディカル	電話03-3817-8036
	福田商店広告部	電話06-6231-2773



9784815700836

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】<出版者著作権管理機構 委託出版物>本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。